



## 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月24日

上場会社名 **第一交通産業株式会社**

(コード番号：9035 福岡証券取引所)

(URL <http://www.daiichi-koutsu.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職名 代表取締役社長  
氏名 田中亮一郎  
責任者役職名 取締役経理部長  
氏名 垂水繁幸

(TEL:(093)511-8840)

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
連結（新規）4社（除外）- 社  
連結子会社数 95社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 - 社  
公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

### 2. 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨表示）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第3四半期	53,639 ( 5.2 )	4,603 ( 54.6 )	4,161 ( 67.4 )	1,821 ( )
16年3月期第3四半期	51,000 ( )	2,977 ( )	2,486 ( )	2,885 ( )
(参考) 16年3月期	70,605	4,286	3,504	2,111

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	93 26	93 22
16年3月期第3四半期	295 40	
(参考) 16年3月期	225 53	

(注) 1. 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

2. 平成16年5月20日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。株式分割が16年3月期期首に行われたと仮定した場合における16年3月期第3四半期の1株当たり四半期純損失は147円70銭、16年3月期の1株当たり当期純損失は112円76銭となります。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

3ページ「経営成績及び財政状態（1）経営成績」をご参照下さい。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	118,554	14,471	12.2	740 81
16年3月期第3四半期	118,958	12,172	10.2	1,246 20
(参考)16年3月期	114,211	12,774	11.2	1,298 64

(注) 1. 期末発行済株式数(連結) 16年12月期 19,534,128株 15年12月期 9,767,419株

16年3月期 9,767,219株

2. 期末自己株式数 16年12月期 63,472株 15年12月期 31,381株

16年3月期 31,581株

3. 平成16年5月20日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。株式分割が16年3月期期首に行われたと仮定した場合における1株当たり株主資本は、16年第3四半期623円10銭、16年3月期649円32銭となります。

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	4,643	3,962	1,725	14,775
16年3月期第3四半期	3,476	4,620	2,417	13,212
(参考)16年3月期	6,375	3,241	2,767	12,305

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

4 ページ「経営成績及び財政状態（2）財政状態」をご参照下さい。

## 3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
通 期	百万円 72,750	百万円 4,100	百万円 1,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 71円67銭

業績見通しは、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当第3四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、前回（平成16年11月24日）公表の業績予想の変更はありません。

## 経営成績及び財政状態

### (1) 経営成績

当第3四半期におけるわが国経済は、株式市況の回復や企業収益の改善を背景に設備投資の伸張等、総じて景気回復への明るさが見受けられましたが、原油価格の高騰、台風や地震等の自然災害、雇用不安などにより個人消費の回復は依然として不透明感が払拭できない状況で推移しました。

このような状況のなか、当第3四半期の当社グループ（当社及び連結子会社。以下同じ。）の業績は、売上高は前年同期比5.2%増加の53,639百万円となりました。損益面につきましては、経常利益は前年同期比67.4%増加の4,161百万円となり、四半期純利益は1,821百万円（前年同期は2,885百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### タクシー事業

当社グループの主力事業であるタクシー業界におきましては、依然として明るさに欠ける個人消費と規制緩和による競争激化の中、企業間格差が明確になりつつあります。

当社グループにおいては、11月から福岡県と広島県においてクレジット・キャッシング・ポイント付与の機能を持たせたハウスカード「LANSカード」を導入したほか、需要の多い大都市圏での増車を中心とするタクシー車両の増減車等による効率的配置と、長野県大町市のアルプス自動車(株)（53台）の買収により、12月31日現在の連結ベースでのタクシー認可台数は6,074台（前年同期比 249台増）となりました。

なお、地域に密着した顧客サービスと個人利用者の利用促進、同業他社との差別化を図るため、当第3四半期までにおいて以下のイベントを実施し、いずれも好評を頂きました。

- ・「徳島第一交通3周年キャンペーンスタンプラリー」（徳島市内）
- ・「つばめ&薩摩オレンジ鉄道開通記念スタンプラリー」（鹿児島県内）
- ・「お得な乗車キャンペーンビンゴゲーム」（宮崎県延岡市内）
- ・「北広島営業所開設記念ビンゴゲーム」（札幌市内）
- ・「アルプス第一交通 新スタートキャンペーン」（大町市等）

以上により、タクシー事業の売上高は前年同期比3.3%増加の33,967百万円となりました。

#### 不動産事業

##### (分譲事業部門)

マンション事業においては、当第3四半期中にコートハウス形式の「アルデ」シリーズを福岡都市圏において新たに販売開始するなど引続き好立地、好条件の分譲物件の供給に注力しました。また、東京支店ではタクシー事業で先行進出している札幌市において新規分譲物件供給のための準備室の設置や、川崎市・鎌倉市など一戸建のニーズが高い首都圏近郊での戸建部門の新規開発に向けて取り組んでおります。

分譲事業部門の売上高は、戸建部門は前年同期に比して大幅減少となりましたが、販売用土地の一括売却並びに「ラコント恵比寿プライベートレジデンス」をはじめとする10月以降の分譲マンションの新規竣工物件引渡し及び竣工済物件販売による売上高の好転（前年10～12月比100.1%の増加）を主要因として、前年同期比2.3%増加の9,506百万円となりました。

##### (賃貸事業部門)

賃貸事業においては、当第3四半期において札幌市での賃貸ビルの買収を中心に管理物件を増加させましたが、個人消費の低迷から飲食ビルの入居率の悪化により、賃貸事業部門の売上高は前年同期比2.0%減少の2,076百万円となりました。

以上の結果、不動産事業の売上高は前年同期比2.4%増加の11,690百万円となりました。

#### 自動車関連事業

自動車関連事業においては、中古車販売が好調だったほか、BMW車・MINI車においては訪問営業や顧客管理の徹底など営業推進体制の強化を図るとともに、ニューモデルの販売開始と併せて既存モデルの根強い人気が奏効し、販売は好調に推移（BMW・MINI合計で販売台数480台、前年同期比18台増加）しました。以上の結果、売上高は前年同期比2.0%増加の3,125百万円となりました。

#### 金融事業

前連結会計年度中に宮崎支店の新規開設及び北九州地区の支店統合など営業エリアの拡大・効率化を行うとともに、新規顧客開拓に注力しビジネスローンは好調に推移しましたが、不動産担保ローンにおいて前連結会計年度中の大口融資先の一括返済の影響もあり、金融事業の売上高は前年同期比4.4%減少の1,537百万円となりました。

## その他事業

バス事業においては、那覇バス㈱の234台を加えた12月31日現在の認可台数は354台となっており、特に那覇バス㈱においてモニター制度の採用、乗務員の運転マナーの向上を推進し、市民に愛される公共交通機関として営業努力を行っております。

また、通信販売事業は、当社グループのタクシー顧客でもある全国各地の販売業者との販売協力と当社グループの営業拡販を目的として、中長期的な重点事業として取り組んでおり、カタログ「逸品倶楽部」の頒布及びインターネット販売を開始するとともに、主力商品である福山黒酢「楠志田」のほか各地区の逸品を中心に取扱商品数を増やすなど、広告宣伝及び販売促進に努めております。

以上の結果、その他事業の売上高は前年同期比63.0%増加の3,317百万円となりました。

## (2) 財政状態

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が3,871百万円となったこと及び短期借入金の純増加により、有形固定資産の取得による支出はありましたが、前連結会計年度末に比べ2,406百万円増加し、当第3四半期末には14,775百万円となっております。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、当第3四半期は4,643百万円(前年同期は3,476百万円)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益3,871百万円(同 4,296百万円の純損失)、タクシー車両の減価償却、M&Aによる営業権及び連結調整勘定の償却を中心とする償却費用2,171百万円(同 2,185百万円)のほか、たな卸資産の増加による支出865百万円(同 254百万円)、営業債権の増加による支出448百万円(同 3,259百万円の収入)等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、当第3四半期は3,962百万円(前年同期は4,620百万円)となりました。これは、主に営業車両の取得を中心とした有形・無形固定資産の取得による支出3,851百万円(同 5,116百万円)及び那覇バス㈱の営業譲受による支出488百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果調達した資金は、当第3四半期は1,725百万円(前年同期は2,417百万円)となりました。これは、主に長期借入金の約定弁済による支出11,621百万円(同 13,386百万円)はありましたが、長期借入の実行による収入9,890百万円(同 13,975百万円)及び短期借入金の純増による収入3,713百万円(同 2,030百万円)等によるものであります。

## (3) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

### 第3四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期別 科目	当第3四半期 (平成16年12月31日現在)		前第3四半期 (平成15年12月31日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%
流動資産	50,751	42.8	52,105	43.8	48,285	42.3
現金及び預金	16,106		16,604		13,651	
受取手形及び営業未収金	14,042		13,432		13,588	
たな卸資産	18,682		19,666		18,163	
その他	2,323		2,733		3,240	
貸倒引当金	402		330		358	
固定資産	67,802	57.2	66,852	56.2	65,925	57.7
有形固定資産	55,341	46.7	53,522	45.0	53,360	46.7
建物及び構築物	16,510		15,886		16,026	
土地	35,513		34,593		34,480	
その他	3,317		3,041		2,853	
無形固定資産	708	0.6	1,020	0.9	847	0.7
投資その他の資産	11,752	9.9	12,309	10.3	11,717	10.3
投資有価証券	2,647		2,127		2,554	
長期貸付金	1,568		1,531		1,641	
繰延税金資産	3,782		4,839		3,750	
再評価に係る繰延税金資産	2,087		2,091		2,094	
その他	2,780		2,695		2,747	
貸倒引当金	1,113		976		1,070	
資産合計	118,554	100.0	118,958	100.0	114,211	100.0

(百万円未満切捨)

科目	当第3四半期 (平成16年12月31日現在)		前第3四半期 (平成15年12月31日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%
流動負債	45,789	38.6	42,537	35.8	41,583	36.4
支払手形及び営業未払金	6,828		5,351		7,181	
短期借入金	32,874		31,259		28,952	
賞与引当金	165		180		481	
その他	5,920		5,746		4,966	
固定負債	57,319	48.4	63,226	53.1	58,796	51.5
長期借入金	45,908		50,725		47,848	
退職給付引当金	6,299		8,912		6,198	
役員退職慰労引当金	1,087		1,024		1,044	
その他	4,024		2,562		3,704	
負債合計	103,108	87.0	105,763	88.9	100,380	87.9
(少数株主持分)						
少数株主持分	975	0.8	1,022	0.9	1,055	0.9
(資本の部)						
資本金	2,020	1.7	2,020	1.7	2,020	1.8
資本剰余金	2,207	1.9	2,207	1.9	2,207	1.9
利益剰余金	13,312	11.2	11,050	9.3	11,827	10.4
土地再評価差額金	3,041	2.6	3,041	2.6	3,045	2.7
その他有価証券評価差額金	40	0.1	3	0.0	166	0.1
自己株式	68	0.1	67	0.1	67	0.1
資本合計	14,471	12.2	12,172	10.2	12,774	11.2
負債、少数株主持分及び資本合計	118,554	100.0	118,958	100.0	114,211	100.0

### 第3四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

期 別 科目	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)		(参考)前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	53,639	100.0	51,000	100.0	70,605	100.0
売 上 原 価	42,798	79.8	41,774	81.9	57,860	81.9
売 上 総 利 益	10,841	20.2	9,225	18.1	12,745	18.1
販売費及び一般管理費	6,237	11.6	6,248	12.3	8,459	12.0
営 業 利 益	4,603	8.6	2,977	5.8	4,286	6.1
営業外収益	684	1.3	738	1.5	959	1.4
営業外費用	1,126	2.1	1,229	2.4	1,741	2.5
経 常 利 益	4,161	7.8	2,486	4.9	3,504	5.0
特別利益	-		51	0.1	67	0.1
特別損失	290	0.6	6,834	13.4	6,373	9.1
固定資産除売却損	188		-		391	
投資有価証券評価損	23		700		13	
退職給付終了損失	-		5,934		5,934	
そ の 他	77		198		33	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期(当期)純損失( )	3,871	7.2	4,296	8.4	2,801	4.0
法人税、住民税及び事業税	1,520		1,282		1,203	
法人税等調整額	430		2,781		2,020	
差引又は計	1,951	3.6	1,499	2.9	816	1.2
少数株主利益	98	0.2	88	0.2	126	0.2
四半期純利益又は四半期(当期)純損失( )	1,821	3.4	2,885	5.7	2,111	3.0

### 第3四半期連結剰余金計算書

(百万円未満切捨)

期別 科目	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(参考)前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金額	金額	金額
(資本剰余金の部)	百万円	百万円	百万円
資本剰余金期首残高	2,207	2,207	2,207
資本剰余金四半期末(期末)残高	2,207	2,207	2,207
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	11,827	14,313	14,313
利益剰余金増加高	1,830	49	49
連結子会社増加に伴う利益剰余金増加高	8	49	49
四半期(当期)純利益	1,821		
利益剰余金減少高	344	3,312	2,535
配当金	244	195	195
役員賞与	90	91	91
土地再評価差額金取崩高	9	72	69
連結子会社減少に伴う利益剰余金減少高		3	3
連結子会社増加に伴う利益剰余金減少高		63	63
四半期(当期)純損失		2,885	2,111
利益剰余金四半期末(期末)残高	13,312	11,050	11,827

### 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

期 別  科 目	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(参考)前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期(当期)純損失( )	3,871	4,296	2,801
減価償却費	1,839	1,706	2,386
営業権償却	99	158	211
連結調整勘定償却	232	320	427
貸倒引当金の増減額(減少: )	82	73	158
賞与引当金の増減額(減少: )	318	289	11
退職給付引当金の増減額(減少: )	100	6,780	4,065
役員退職慰労引当金の増減額(減少: )	43	52	71
受取利息及び受取配当金	54	75	88
支払利息	940	1,036	1,383
販売用不動産評価損	19		27
固定資産売却益		51	67
固定資産除売却損	188	197	391
投資有価証券評価損	23	700	13
営業債権の増減額(増加: )	448	3,259	3,072
たな卸資産の増減額(増加: )	865	254	996
仕入債務の増減額(減少: )	6	3,541	1,274
その他の資産及び負債の増減額	434	901	839
役員賞与の支払額	91	92	92
その他	128	17	142
小 計	6,233	6,603	9,874
利息及び配当金の受取額	54	75	88
利息の支払額	919	1,004	1,358
法人税等の支払額	724	2,197	2,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,643	3,476	6,375

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(参考)前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	815	1,602	2,407
定期預金の払出による収入	858	1,676	4,527
投資有価証券の取得による支出	153	343	418
投資有価証券の売却による収入	407	324	358
有形・無形固定資産の取得による支出	3,851	5,116	6,921
有形・無形固定資産の売却による収入	255	309	1,662
短期貸付金の増減額(増加: )	93	127	41
長期貸付による支出	424	488	575
長期貸付金の回収による収入	234	803	873
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		36	36
連結子会社株式の追加取得による支出	89		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	53		
営業の譲受に伴う支出	488		
その他の投資の取得による支出	1,020	736	783
その他の投資の回収・売却による収入	977	463	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,962	4,620	3,241
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(減少: )	3,713	2,030	1,780
長期借入による収入	9,890	13,975	16,746
長期借入金の返済による支出	11,621	13,386	17,531
自己株式の取得による支出	0		0
配当金の支払額	244	195	195
少数株主への配当金支払額	11	6	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,725	2,417	2,767
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	2,406	1,273	366
現金及び現金同等物の期首残高	12,305	11,607	11,607
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	63	360	360
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		29	29
現金及び現金同等物の期末残高	14,775	13,212	12,305

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成16年4月1日至平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	タクシー事業	不動産事業	自動車関連事業	金融事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	33,967	11,690	3,125	1,537	3,317	53,639	-	53,639
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	243	833	41	387	1,506	1,506	-
計	33,967	11,934	3,958	1,579	3,704	55,145	1,506	53,639
営業費用	31,064	10,948	3,904	1,068	3,523	50,509	1,473	49,035
営業利益又は営業損失( )	2,903	986	54	510	181	4,636	32	4,603

前第3四半期（自平成15年4月1日至平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	タクシー事業	不動産事業	自動車関連事業	金融事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	32,880	11,411	3,065	1,608	2,035	51,000	-	51,000
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	199	800	38	-	1,038	1,038	-
計	32,880	11,611	3,866	1,646	2,035	52,038	1,038	51,000
営業費用	31,223	10,827	3,793	1,211	2,045	49,102	1,078	48,023
営業利益又は営業損失( )	1,656	783	72	434	10	2,936	40	2,977

前連結会計年度（自平成15年4月1日至平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	タクシー事業	不動産事業	自動車関連事業	金融事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	43,900	17,809	4,080	2,124	2,691	70,605	-	70,605
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	265	1,125	52	-	1,443	1,443	-
計	43,900	18,075	5,205	2,176	2,691	72,048	1,443	70,605
営業費用	41,512	16,808	5,137	1,602	2,712	67,773	1,454	66,319
営業利益又は営業損失( )	2,387	1,266	68	573	21	4,274	11	4,286

(注) (1) 事業区分の方法

グループ内の事業展開を考慮して区分しております。

(2) 各事業区分の主な事業内容

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| タクシー事業  | 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）               |
| 不動産事業   | 分譲住宅の企画及び販売、不動産の賃貸及び管理            |
| 自動車関連事業 | 外車・中古車の販売及び自動車の点検・整備等             |
| 金融事業    | 貸金業                               |
| その他事業   | バス事業(路線・貸切)、パーキング事業及び車両の運行管理請負業務等 |

## 2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）前第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）及び前連結会計年度（自平成15年4月1日 至平成16年3月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 3. 海外売上高

当第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）前第3四半期（自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）及び前連結会計年度（自平成15年4月1日 至平成16年3月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## 営業の状況

### (1) 販売実績

事業の種類別 セグメントの名称	当第3四半期	前第3四半期	前連結会計年度
	百万円	百万円	百万円
タクシー事業	33,967	32,880	43,900
不動産事業	11,690	11,411	17,809
自動車関連事業	3,125	3,065	4,080
金融事業	1,537	1,608	2,124
その他事業	3,317	2,035	2,691
合計	53,639	51,000	70,605

### (2) タクシー事業

#### タクシー事業営業実績

項目	当第3四半期	前第3四半期	前連結会計年度
期末在籍車両数	6,074 台	5,825 台	5,861 台
稼働率	91.3 %	91.0 %	90.8 %
走行キロ	263,337,614 km	248,365,905 km	334,441,596 km
運送収入	33,967 百万円	32,880 百万円	43,900 百万円
走行1km当たり 運送収入	128 円 98 銭	132 円 38 銭	131 円 26 銭

### (3) 不動産事業

不動産事業の販売実績は次のとおりであります。

項目		当第3四半期		前第3四半期		前連結会計年度	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
分 譲 事 業	中高層住宅	戸 282	百万円 7,371	戸 318	百万円 7,552	戸 531	百万円 12,711
	戸建住宅	31	531	56	1,147	77	1,762
	その他	/	1,603	/	592	/	540
	小計	313	9,506	374	9,292	608	15,013
賃貸事業		/	2,076	/	2,119	/	2,795
その他		/	107	/	-	/	-
合計		/	11,690	/	11,411	/	17,809

(注) 前連結会計年度まで「その他」に含めて表示しておりましたリフォーム、土地一括販売等の分譲関連販売実績(前第3四半期592百万円)を、当第3四半期から「分譲事業」に含めて表示しており、期間比較のため前第3四半期及び前連結会計年度を当第3四半期の表示と整合させております。

分譲住宅の契約実績は次のとおりであります。

当第3四半期

項 目	期首契約残高		第3四半期中契約高		第3四半期末契約残高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中高層住宅	戸 196	百万円 4,866	戸 333	百万円 8,323	戸 247	百万円 5,818
戸建住宅	13	288	31	547	13	303

前第3四半期

項 目	期首契約残高		第3四半期中契約高		第3四半期末契約残高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中高層住宅	戸 210	百万円 5,057	戸 404	百万円 9,914	戸 296	百万円 7,419
戸建住宅	16	443	58	1,023	18	319

前連結会計年度

項 目	期首契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中高層住宅	戸 210	百万円 5,057	戸 517	百万円 12,519	戸 196	百万円 4,866
戸建住宅	16	443	74	1,606	13	288

(4)自動車関連事業

自動車関連事業の売上高の内訳は次のとおりであります。

項 目	車 種	当第3四半期		前第3四半期		前連結会計年度	
		販売台数	金額	販売台数	金額	販売台数	金額
外車販売	B M W 車	台 229	百万円 1,168	台 219	百万円 1,079	台 307	百万円 1,530
	M I N I 車	251	621	243	592	327	798
	その他外車	1	1	49	126	51	130
	計	481	1,791	511	1,797	685	2,459
その他		/	1,334	/	1,267	/	1,620
	合 計	/	3,125	/	3,065	/	4,080

(5) 金 融 事 業

金融事業の売上高の内訳は次のとおりであります。

項 目	当第3四半期		前第3四半期		前連結会計年度	
	金額	(参考)融資残高	金額	(参考)融資残高	金額	(参考)融資残高
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
ビジネスローン	922	5,092	797	4,451	1,080	4,711
不動産担保ローン	454	7,158	566	7,062	724	6,224
そ の 他	160	9	244	9	319	8
合 計	1,537	12,260	1,608	11,523	2,124	10,944

(注)「商工ローン」を「ビジネスローン」に、「不動産抵当ローン」を「不動産担保ローン」にそれぞれ名称変更しております。